

月報

## 神戸市感染症情報

&lt;特集&gt;麻しん

病原体検出状況報告(3月分集計)

17巻4号 (No.186)

2014年4月発行

神戸市感染症情報対策委員会

事務局 神戸市保健所予防衛生課

〒650-8570 神戸市加納町 6-5-1

Tel:078(322)6789 Fax:078(322)6763

## &lt;特集&gt;麻しん—国内の麻しん発生数が急増

昨年12月(第48週)以降より国内での麻しん発生数が増加し始め、今年1月から3月末日までの麻疹ウイルス分離・検出報告数(158例)は昨年1年間の報告数(53例)の約3倍に相当している(図参考)。麻疹が流行しているフィリピンなどへの海外渡航者が国内に麻しんウイルスを持ち込み、さらに国内での二次感染事例が続出しているためである。海外で麻しんウイルスに感染し国内で発症した際には、正確かつ迅速に確定診断し適切な感染予防対策を講じなければ強力な感染力により大規模な国内での流行を引き起こす可能性がある。十分な警戒が必要である。

## 【麻しんとは】

麻しんは麻しんウイルス(Paramyxoviridae 科 Morbillivirus 属)によっておこる感染症で、潜伏期間は10日前後である。典型的な症例では発熱・カタル症状・結膜充血が数日間続いた後(カタル期)、頬粘膜に特徴的なコプリック斑が現れ、その1-2日後に特徴的な発疹が出現し、高熱が数日間持続する。麻疹の合併症は約30%に発生し、肺炎、脳炎、亜急性硬化性全脳炎などの重篤な疾患を引き起こす。感染経路は空気(飛沫核)感染のほか、飛沫や接触感染などであり、感染力はきわめて強い。麻しんは予防注射で防御可能であるが、麻しん患者数が減少することにより自然感染による免疫増強効果が得られなくなっている。ワクチン接種後長期間を経過した後、麻しんウイルスに感染する症例があるため、2006年より従来の1回接種から2回接種に移行した。しかしながら、2007年に全国的に10代20代を中心とした年齢層で麻しんが大流行したため、国は麻疹対策を強化し、予防接種の対象者を拡大するとともに確実な診

断を行うために地方衛生研究所でのウイルスの検出検査の実施を推し進めた。

## 【確実な麻しん診断のために】

麻しんと類似した発疹性の疾病は多種類有り、臨床症状だけで診断をすることは難しい。特にワクチン既接種者による修飾麻しんの症状は非典型的なもので、より一層臨床診断が困難である。風疹が流行した昨年、神戸市で風疹ウイルスを検出した患者の内55%が、当初は麻しんウイルスの感染を疑われていた(昨年神戸市では麻しんウイルスの検出はゼロである)。逆に大阪府では麻しんであるにもかかわらず風疹であると誤診されていたケースも発生している<sup>(1)</sup>。

麻しんウイルスの感染を確実に診断するための検査法としては地方衛生研究所で実施しているウイルス遺伝子検査やウイルス分離検査が推奨されている。一方抗麻しんウイルスIgM抗体のみを検査診断法として使うのにはいくつかの問題点がある。抗麻しんIgM抗体が上昇するのは発症数日後であり、初期は陰性となる。さらに他疾患(伝染性紅斑(パルボウイルスB19感染)、デング熱、突発性発疹(HHV6感染))でも抗麻しんウイルスIgM抗体が陽性となる症例があることが報告されている。神戸市で風疹ウイルスを検出した患者の抗麻しんIgM抗体が陽性であった症例もあり注意が必要である<sup>(2)</sup>。

地方衛生研究所で麻しんウイルスを検出した際に分離されたウイルスの遺伝子解析を実施し、遺伝子型を確定することにより、ウイルスが国内の土着型(D5型)かそれとも海外流行型かの鑑別を行うとともに、感染源の特定に努めている。現在国内で検出されたウイルスの遺伝子型の多くはフィリピンで流行し

ているB3型である。

神戸市では2007-8年にD5型麻疹ウイルスの大流行があり、その後2011年5月にフランスからの帰国者からD4型麻疹ウイルスを検出して以降麻疹ウイルスの検出はない。しかしながら、現在海外流行地での感染の可能性だけでなく、国内で海外輸入株の二次感染者が増加しており、国内で感染する可能性が高い。特にこの数か月関東地方および近畿地方を中心に麻疹患者が急増しており、より一層十分な注意が必要である。

【麻疹検体の採取】

麻疹検査の感度は血液(EDTA採血)のリンパ

球が最も高いが、確実にウイルスを検出するために、発症後なるべく早い時期の血液(EDTA採血)、咽頭拭い液、尿の3点セットで検査することが推奨される。

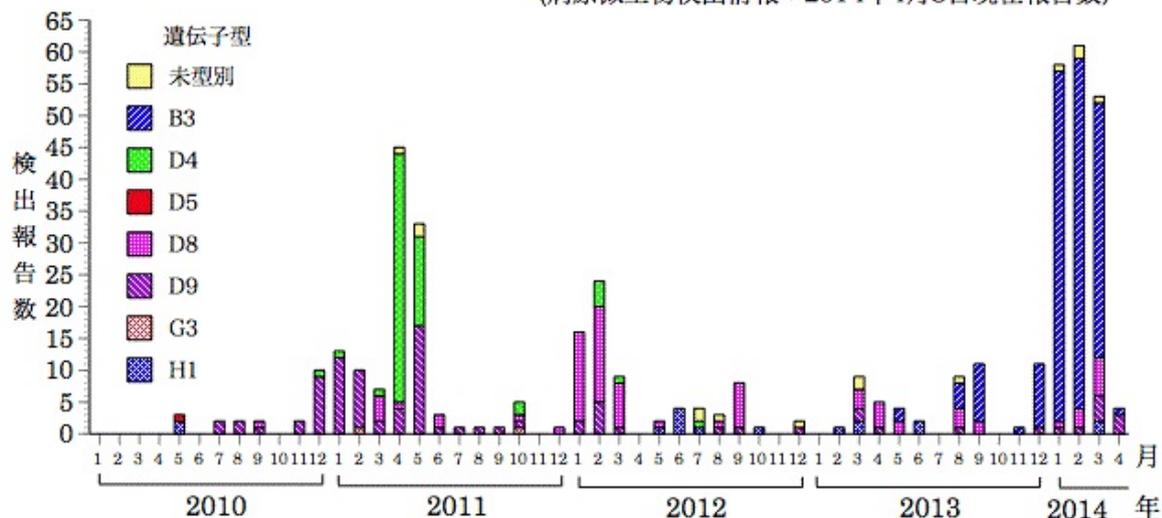
【引用】

- (1) IASR, 34: 347-348, 2013.
- (2) IASR, 33: 305-308, 2012.
- (3) IASR、麻疹ウイルス検出・分離速報.  
(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-measles.html>)

環境保健研究所感染症部 秋吉 京子

月別麻疹ウイルス分離・検出報告数、2010年1月～2014年4月

(病原微生物検出情報：2014年4月8日現在報告数)



感染症研究所ホームページより引用<sup>(3)</sup>

病原菌検出状況報告（病院検査室定点）2014

2014/04/24現在

便（細菌）

菌種名	1月	2月	3月	合計
<i>Aeromonas hydrophila</i>	0	1	1	2
<i>Campylobacter jejuni</i>	11	25	35	71
<i>Campylobacter jejuni/coli</i>	3	4	12	19
<i>Escherichia coli</i> , その他	2	1	0	3
<i>Salmonella</i> O7	0	1	0	1
<i>Salmonella</i> O8	0	0	1	1
<i>Salmonella</i> O1, 3, 19	1	0	0	1
<i>Staphylococcus aureus</i>	30	20	15	65
陽性数	45	52	64	161
検査件数	594	547	332	1473

便（ウイルス）

ウイルス名	1月	2月	3月	合計
adenovirus 40/41	3	1	1	5
norovirus 群不明	60	30	4	94
rotavirus	0	0	2	2
陽性数	63	31	7	110
検査件数	258	202	29	489

便（原虫）

原虫名	1月	2月	3月	合計
検査件数	1	0	0	1

穿刺液（胸水、腹水、関節液など）

菌種名	1月	2月	3月	合計
Anaerobes	5	5	0	10
<i>Escherichia coli</i>	10	12	2	24
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	7	4	3	14
<i>Mycobacterium</i> spp.	0	0	1	1
<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	5	4	2	11
<i>Staphylococcus aureus</i>	5	3	3	11
<i>Staphylococcus</i> コアグララーゼ陰性	7	4	1	12
陽性数	39	32	12	83
検査件数	301	262	112	675

髄液

菌種名	1月	2月	3月	合計
<i>Escherichia coli</i>	0	0	1	1
<i>Staphylococcus aureus</i>	0	3	3	6
陽性数	0	3	4	7
検査件数	73	76	45	194

咽頭および鼻咽頭からの材料

菌種名	1月	2月	3月	合計
<i>Haemophilus influenzae</i>	62	43	77	182
<i>Streptococcus</i> A	6	8	7	21
<i>Streptococcus pneumoniae</i>	26	25	29	80
陽性数	94	76	113	283
検査件数	1178	1066	393	2637

尿

菌種名	1月	2月	3月	合計
<i>Acinetobacter</i> spp.	1	0	0	1
<i>Candida albicans</i>	57	27	25	109
<i>Enterobacter</i> spp.	18	14	5	37
<i>Enterococcus</i> spp.	166	138	82	386
<i>Escherichia coli</i>	296	283	171	750
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	50	51	33	134
<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	51	54	18	123
<i>Staphylococcus aureus</i>	49	36	20	105
<i>Staphylococcus</i> コアグララーゼ陰性	59	44	20	123
陽性数	747	647	374	1768
検査件数	1433	1219	632	3284

血液

菌種名	1月	2月	3月	合計
Anaerobes	16	4	0	20
<i>Escherichia coli</i>	67	74	35	176
<i>Haemophilus influenzae</i>	4	0	0	4
<i>Listeria monocytogenes</i>	1	0	2	3
<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	9	11	6	26
<i>Staphylococcus aureus</i>	34	37	13	84
<i>Staphylococcus</i> コアグララーゼ陰性	42	41	31	114
<i>Streptococcus</i> B	4	0	0	4
<i>Streptococcus pneumoniae</i>	1	6	1	8
陽性数	176	173	88	437
検査件数	3005	2723	1424	7152

喀痰、気管吸引液および下気道からの材料

菌種名	1月	2月	3月	合計
<i>Haemophilus influenzae</i>	56	34	40	130
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	64	49	18	131
<i>Mycobacterium tuberculosis</i>	3	3	4	10
<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	100	106	52	258
<i>Staphylococcus aureus</i>	173	188	129	490
<i>Streptococcus</i> A	2	1	2	5
<i>Streptococcus</i> B	6	13	16	35
<i>Streptococcus pneumoniae</i>	48	49	19	116
陽性数	452	443	280	1175
検査件数	1588	1379	843	3810

尿道または子宮頸管擦過（分泌物）

菌種名	1月	2月	3月	合計
<i>Candida albicans</i>	33	37	11	81
<i>Chlamydia trachomatis</i>	3	0	0	3
<i>Streptococcus</i> B	17	29	6	52
<i>Trichomonas vaginalis</i>	1	2	0	3
陽性数	54	68	17	139
検査件数	390	406	84	880

検出された *S. aureus* の内訳

菌種名	1月	2月	3月	合計
便				
MRSA	11	16	9	36
MSSA	19	7	6	32
メチシリン未検査	0	0	0	0
合計	30	23	15	68
<i>S. aureus</i>	30	23	15	68
穿刺				
MRSA	1	1	0	2
MSSA	4	2	3	9
メチシリン未検査	0	0	0	0
合計	5	3	3	11
<i>S. aureus</i>	5	3	3	11
髄液				
MRSA	0	3	3	6
MSSA	0	0	0	0
メチシリン未検査	0	0	0	0
合計	0	3	3	6
<i>S. aureus</i>	0	3	3	6
尿				
MRSA	31	25	8	64
MSSA	18	11	12	41
メチシリン未検査	0	0	0	0
合計	49	36	20	105
<i>S. aureus</i>	49	36	20	105
血液				
MRSA	17	22	4	43
MSSA	17	15	9	41
メチシリン未検査	0	0	0	0
合計	34	37	13	84
<i>S. aureus</i>	34	37	13	84
喀痰				
MRSA	106	126	79	311
MSSA	67	62	50	179
メチシリン未検査	0	0	0	0
合計	173	188	129	490
<i>S. aureus</i>	173	188	129	490
合計				
MRSA	166	193	103	462
MSSA	125	97	80	302
メチシリン未検査	0	0	0	0
合計	291	290	183	764

病原菌検出状況報告（検診機関）2014

便（細菌）

菌種名	1月	2月	3月	合計
<i>Salmonella</i> O4	0	1	2	3
<i>Salmonella</i> O8	2	0	0	2
陽性数	2	1	2	5
検査件数	7361	7108	6968	21437

便（ウイルス）

ウイルス名	1月	2月	3月	合計
norovirus G2	2	0	0	2
陽性数	2	0	0	2
検査件数	105	179	69	353

病原体検出状況報告

2014/4/23現在

ウイルス分離・検出状況(定点)

ウイルス名	1月	2月	3月	合計
コクサッキー A群16型			1	1
A型インフルエンザ H1pdm09	8	14	2	24
A型インフルエンザ H3型	4	3	3	10
B型インフルエンザ(山形系統)	6	3	2	11
B型インフルエンザ(ビクトリア系統)	1	2	1	4
B型インフルエンザ(系統不明)			3	3
C型インフルエンザ		1		1
風疹		1		1
ヒトメタニューモ			2	2
アデノ1型			1	1
アデノ2型	1			1
アデノ3型			1	1
アデノ4型		1		1
VZV(水痘帯状疱疹ウイルス)		10		10
単純ヘルペス1型		1		1
デング			1	1
陽性検体数	20	36	17	73
検体数	25	48	25	98

下痢原因菌検出状況

菌種名	検査室	1月	2月	3月	小計	合計
<i>Campylobacter jejuni</i>	環保研	1	7	5	13	23
	中央市病	3	2	5	10	
<i>Campylobacter coli</i>	環保研		1		1	1
	中央市病				0	
<i>Clostridium perfringens</i>	環保研		5	10	15	15
	中央市病				0	
<i>Salmonella</i> O4	環保研			3	3	3
	中央市病				0	
<i>Shigella sonnei</i>	環保研				0	2
	中央市病			2	2	
<i>Staphylococcus aureus</i>	環保研	2	8	8	18	18
	中央市病				0	
検出菌総数	環保研	3	21	26	50	62
	中央市病	3	2	7	12	
検査検体数	環保研	11	78	49	138	278
	中央市病	54	24	62	140	

環保研 : 神戸市環境保健研究所(食中毒関連検査等)  
 中央市病: 神戸市中央市民病院(外来患者検査等)

A群溶連菌(定点)

T型別	1月	2月	3月	合計
1				0
2				0
3				0
4				0
6				0
8				0
9				0
11				0
12				0
13				0
18				0
22				0
23				0
25				0
28				0
5/27/44				0
14/49				0
B3264				0
imp.19				0
UT				0
陽性数				0
<i>H.influenzae</i>				0
検査検体数	0	0	0	0

STD定点

	1月	2月	3月	合計
淋菌	耐性菌(PCG)	1		1
	耐性菌(LVFX)			0
	低感受性菌(CFIX)	1		1
	陽性数	1		1
検査検体数	1	0	0	1
<i>Chlamydia trachomatis</i>	陽性数	0	0	0
	検査検体数	1	1	0
<i>U.urealyticum</i>	陽性数	0	1	1
	検査検体数	1	1	0

百日咳(定点)

	1月	2月	3月	合計
陽性数(培養法)				0
陽性数(LAMP法)				0
検査検体数	0	0	0	0

# 神戸市感染症発生動向調査月報

2014年3月受診の患者数報告

総報告定点数 12ヶ所  
総設置定点数 12ヶ所

神戸市感染症情報センター

STD定点情報（3月患者）		患者年齢層														合計	
病名	性	0~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69		70~
性器クラミジア感染症	男					2	3			2							7
	女				5	1	3	2	2								13
性器ヘルペスウイルス感染症	男															1	1
	女					2	1					2					5
尖圭コンジローマ	男								2								2
	女					2											2
淋菌感染症	男					1	2			1				1			5
	女				1												1

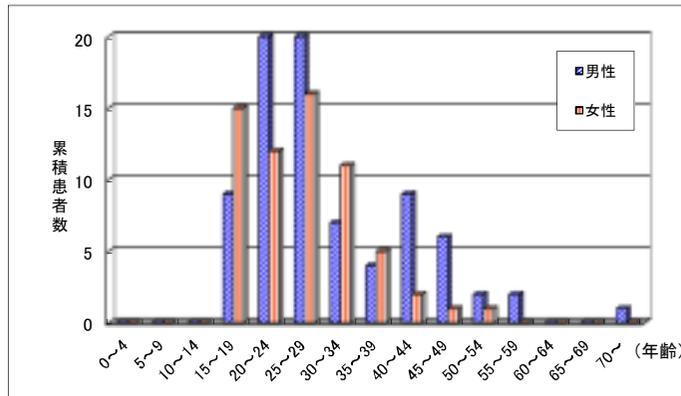
<その他の感染症情報>

臈トリコモナス症2例：10代、20代（8802）

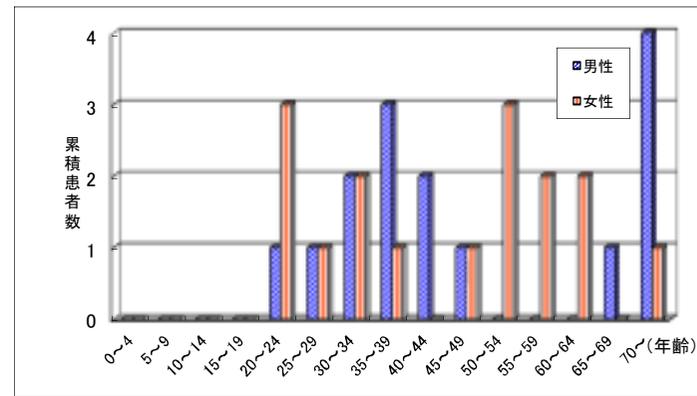
毛じらみ症1例：50歳台男（8902）

直近6か月間の累積患者報告数（2013年10月～2014年3月）

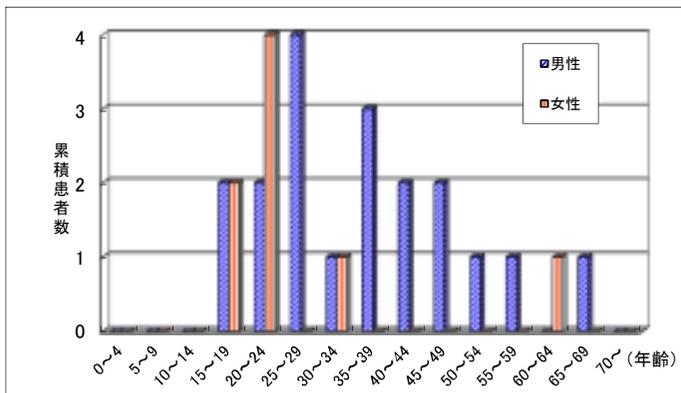
1. 性器クラミジア感染症



2. 性器ヘルペスウイルス感染症



3. 尖圭コンジローマ



4. 淋菌感染症

